

受講者（機械製造メーカーの技術・製造の方々）から頂いた感想です。

電気取扱業務に係わる特別教育（低圧充電回路等、開閉器操作業務の特別教育）

<p>今週は8時間に渡って低圧電気取扱講習を受講させて頂きました。知っているようで知らない事が非常に多く、個人的には非常に興味深い内容だったと感謝しています。初心にかえることも必要ですね。</p>
<p>8時間の低圧電気取扱業務に係わる特別教育を受講させて頂きました。電氣的危険は機械的危険と違って危険が見えにくい上、即死に至るケースもあるので、今後現場作業では充分注意をして作業を行っていきます。</p>
<p>8時間、低圧電気取扱業務にかかる特別教育に参加しました。初めて知る内容ばかりだったのでとても難しく感じました。講習でつかった資料をよく読み、電気に関する作業をするときは注意しながら作業をやっていきたいと思います。</p>
<p>低圧電気取扱業務にかかる特別教育を受講し、電気の怖さを改めて実感しました。この機会に、電気についても勉強します。</p>
<p>低圧電気取扱業務にかかる特別教育を受講しました。機械安全は機械安全と密接に関わり、作業するうえでもそうですが、安全設計するうえでも重要な知識です。実際に作業することは少ないかもしれませんが、設計時には大いに活用していきます。</p>
<p>低圧電気取扱業務にかかる特別教育に参加しました。電気は目に見えるものではなく、命に関わる事故に発展する可能性が高い為、特に注意して作業を行います。</p>
<p>低圧電気取扱いの特別教育を受けました。過去在籍していた会社でも同様の教育をうけましたが、社内教育としての扱いだったため今回ようやく社外で作業ができる立場になりました。機械設計者が配線作業をする＝不具合・トラブルのケースが多いと思います。そういったケースが多くならないよう、信頼度の高い設計を行うよう心がけます。</p>
<p>「低圧電気取扱にかかる特別教育」に参加しました。講師の森山先生は製品安全設計の講座でも大変お世話になりました。教本よりも分かりやすく作成されたパワーポイント資料と漏電ブレーカやケーブル、安全グッズ、検電器、保護具等々の多数の現物を持ち込まれての講義でした。万が一の心肺蘇生法もあり、非常に役立つ知識の習得の場となりました。</p>
<p>「低圧電気取扱にかかる特別教育」を受講しましたが、非常に解りやすく説明して頂いたため集中して聞くことが出来ました。他の安全を考える場合にも役立つ内容だったと思います。</p>
<p>「低圧電気取扱にかかる特別教育」を受講して、自分の電気に関しての安全意識が甘かった事を感じました。事故事例も資料にありましたが、電気は目に見えないだけに、普段あまり意識して危険だと思う事はありません。作業前の元電源の遮断は、特に意識しておこうと思います。</p>
<p>一応の基礎知識はあると思っていましたが、見えない危険に対して改善しなければならない作業環境にあることを実感しました。</p>
<p>安全作業用具に関する基礎知識については、特に勉強になりました。</p>
<ul style="list-style-type: none"><li>・実際に電気を扱う業務であるため、関心を持ちました。</li><li>・運転検査にてアースはとりますが、現状ベストな状態かは確かではなく、漏電等を考えると今の現場は足下が水びたし状態なので環境を考えていくべきと思いました。</li><li>・電線は常に生きている、という風に意識して今後の仕事に心がけようと思います。</li><li>・電気は目に見えないので、今以上に慎重な作業が大切だと痛感しました。</li></ul>
<p>アースの重要性を改めて感じました。運転場・装置組立では、配線をよく行うため特に気を付けたいと思います。</p>

<p>・低圧電気教育に参加しました。自分や他人の命を守る為には、十分な注意と対策が必要だと感じました。面倒だからと安全対策をせずに作業を行うことは絶対にしてはいけないと思います。検電器は便利な道具だと思いました。</p> <p>・救急処置についてのDVDはわかりやすかったです。もし、自分が救急処置をする立場になったら冷静な行動ができるように、定期的に救急処置について学習することを心掛けたいと思いました。</p>
<p>電気関係に詳しくない僕にとっては、今回の特別教育で電気の基礎的な事が学べました。今回学んだことを仕事に活かしていきたいです。</p>
<p>8時間の低電圧講習を受講しました。知らないことが多々あり大変勉強になりました。また電気を使用する際に便利な器具なども紹介していただきました。試運転の現場では電気に関連する作業が多いので基礎的知識を頭に入れて、安全第一で作業をしていきたいです。また日常生活でも電気には十分に気を付けていきたいです。</p>
<p>低圧電気講習を受講させて頂きました。聞き手を理解したわかりやすい講義で、抵抗なく学ぶことができました。感電や火災につながる恐さを知り、身を護ることへの認識を改めることができました。</p>
<p>低圧電気講習は非常に有意義な内容でした。電気配線や、電力メーター設置時等、やってはいけないことを今まで平気でやっていたということが多々ありました。安全対策に必要な道具も教えていただきましたので必要なものはそろえていきたいと思います。</p>
<p>低圧電気講習を受講しました。安全に作業を行うための基礎的な内容で大変勉強になりました。</p>
<p>低圧電気取り扱いにかかる特別教育に参加しました。電気に関する仕事をしていく上で、今まで知らなかったことや改めて確認できたこともあり、安全に対する意識も高まりました。このようなことは命に関わることもあるので、今回学んだことを頭に置いて、安全に業務をしていきたいです。</p>
<p>低圧電気取扱業務にかかる特別教育を受け、電気に関する安全へ意識が全然足りてないことを痛感しました。とりあえず検電器は安いものもあるので購入して手元に置くようにします。</p>
<p>こちらの講義では、合計8時間となる長丁場でしたが、内容はとても面白かったです。印象に残っている点はいくつもありますが、まず人が感電した際にどの程度で危険なのかを示したグラフです。人体に1Aの電流が0.2秒流れたら50%以上で重体か死亡というのが驚きでした。それ以下でも一定時間流れると危険な場合があるので、どんな物に1A流れているということはあまり検討つきませんが、感電はとても危険だということはわかりました。一般家庭のブレーカが落ちるのは安全の範囲だということも学びましたが、一定以上の電流だとブレーカが落ちる前に人体に悪影響が出るとのことなので、過信せずに気をつけるべきだと考えました。アースについても学びまして、家電などの緑の線は今まで邪魔だなと考えていましたが、今回の講義を聴き、機械の金属部分をできるだけ接地する方がいいと強く感じました。特に水回りの場合は非常に危険ということもわかり、今後家電などを新しく設置する場合は、接地に気をつけるべきだと考えました。3相電源についても驚きがありました。3相電源などは今までに聴いたことがありましたが、何故3相なのかは知りませんでした。講義で発電機は回転力を電力として変換しているので、電動機で電力を回転力に戻すには3相がとても都合いいという話を聴き、感動しました。3相の電源は特にいらないと考えていましたが、やっと積極的に使われる理由がわかり、3相理論について好きになれそうでした。そして検電器の話は何度もされていましたが、実際に私が電気関係の作業を行う機会があれば、絶対買う方がいいと考えるくらいに影響されました。電線に触れる際に、右手の甲で触れるというのも印象に残りました。今後電気作業を行う機会は十分あると考えられますので、その際は今回の講義を思い出し、できる限りのことはしたいと考えました。</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気の取扱には十分注意が必要だと学んだ。自分の目で安全だと確認するだけでなく、作業中に他人が誤って事故原因を作らないよう工夫する必要があることを知った。</li> <li>・電気関係については基礎知識が乏しく、取扱もこうすれば危険だろうくらいの認識しか持っていなかった。ブレーカをロックしたり、絶縁のシートをかぶせたり、検電器を用いて確認したり、何重にも安全対策を考えて作業をする必要を学んだ。また、感電による事故は、外傷がない分見ただけで判断しにくく、不用意に近づくと二次災害の恐れもある。事故が起こった際にはあわてずに講義の内容通り冷静に対応できるようになりたいと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・8時間通して電気取扱に関する講義をして下さったおかげで危険性や防御法、設備等電気の知識が増えました。</li> <li>・停電しているのを確認しても作業中に他の人がブレーカを入れてしまい事故になることもあるので、安全に見えてもまず通電中であると考え用心し、何重にも安全策を講じる必要性を学びました。</li> <li>・電気事故は外傷よりも心停止の危険性が高く、二次災害を引き起こす可能性もあるため、今回学んだ内容を覚えておき、万が一事故が発生した場合どうして良いのか解らず焦ることのないよう冷静に対処できるようにしておかなければならないと感じました。</li> </ul>
<p>実務で電源配線をする作業が時々あることから「低圧電気特別教育」を受講しました。講義7時間、実技教育は1時間なので工具を実際に手に取る時間は少なかった。電気安全の事、特にアースについては知らないことが多かった。来年、電気工事士を受験してみようかと思っています。</p>
<p>先日、「低圧電気特別教育」を受講した。これまでもある程度わかっているつもりでいたが、漏電の怖さやアースの重要性などについて、再認識した。</p>
<p>「低圧電気取扱安全」受講しました。今までは、ええんかなと思いつつ、制御盤を触っていたので、これからは堂々と制御盤触ります。保護具について、最低限、絶縁手袋と検電器は準備しようかと思えます。</p>
<p>低圧電気の講習を受講しました。森山先生には昨年サービス部のメンバーを研修していただきましたが、今回は設計や技術のメンバーと共に参加できました。安全衛生の視点で今後の業務や指導に生かしていきます。</p>
<p><b>この感想は、森山哲（有限会社森山技術士事務所代表）が講師として担当した低圧電気取扱者の特別教育終了後にその企業より頂戴したものを原文のままお読みいただいています。企業や個人に関する部分は削除してあります。これはある1回の研修に参加された受講者の全員からのものです。</b></p> <p><b>講師に関する詳細はホームページ <a href="http://www.safetyeng.co.jp/">http://www.safetyeng.co.jp/</a> をご覧下さい。</b></p> <p><b>森山哲（博士（工学）、技術士（総監、電気電子部門）、労働安全コンサルタント）</b></p>